

2016年4月15日(金)

## 2016年度訪口研修日本人ビジネスマン参加者募集

独立非営利法人貿易経済交流発展のための日本センター(以下「日本センター」)は、日露政府間の合意に基づきロシアに対する技術・知的支援の一環として、ロシア経済発展省の傘下にある連邦人材センター\*と協力して、日本でのビジネス研修への企業経営者の派遣や、ロシア各地でのビジネスセミナーの実施などを行っております。

\*連邦人材センターはロシア政府が実施する大統領プログラムのうち「企業経営者養成計画」の実施を担っている組織

連邦人材センターは「外国人ビジネスマンのための訪口研修」を2006年から実施しています。ロシア政府が外国人ビジネスマンをロシア各地へ招待し、多国籍混合グループとして、一定期間(1週間~2週間)現地に滞在し研修を行うものです。毎年、フランス、ドイツ、フィンランド、ノルウェーなどから多くのビジネスマンが参加しています。日本センターは、連邦人材センターからの依頼により当該研修の日本人参加者の窓口業務や研修参加までの側面支援等に協力しています。

研修では、訪問地の行政府やビジネス関係組織との懇談会や名刺交換会が含まれるほか、外国人ビジネスマンが希望する企業や産業分野を反映した企業訪問やその地域の経済活動に関する講座等が実施されます。

今般、連邦人材センターより2016年訪口研修日程を受け取りましたので、本年2月に実施したアンケートに続き、参加者募集を行います。

**参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③役職、④参加ご希望地域、⑤産業分野、⑥参加期間(1週間または2週間)をご記入の上、モスクワ日本センター事業課に5月15日(日)までにメールでご連絡ください。ご連絡いただいた方に参加申請書を送付いたします。**

モスクワ日本センター事業課：[info.mow@jc.org.ru](mailto:info.mow@jc.org.ru)

※研修参加者の選考はロシア側(連邦人材センター)が行います。

## 1. 2016年研修日程表

2016年4月現在、ロシア側から提出された予定表です。※1週間のみの参加も可能です。地域をクリックすると地域についてのプレゼンをご覧になれます。

	研修地域	時期	期間
1	<a href="#">クラスノヤルスク地方</a> (1週間) 及び <a href="#">スヴェルドロフスク州</a> (1週間)	9/18 - 10/1	2週間
2	<a href="#">ウドムルト共和国</a> (1週間) 及び <a href="#">バシコルトスタン共和国</a> (1週間)	10/9 - 10/22	2週間
3	<a href="#">ニジェゴロド州</a> (1週間) 及び <a href="#">ウリヤノフスク州</a> (1週間)	10/30 - 11/12	2週間
4	<a href="#">レニングラード州</a>	11/13 - 11/19	1週間

注1) 研修地域については、下記の【実施地域及び地域概要】ご参照ください。

注2) 各地域での研修プログラムは、参加者の意向を反映して作成するため、参加者の決定後に作成されます。

注3) 日程変更の可能性があります。参加者が少ない場合は研修日程の変更や実施しないことがあります。

## 2. 実施目的

研修と銘打たれてはいるものの、現地事情視察、人脈構築、ビジネスマッチングが当事業の実施目的です。

### 3. 費用負担

- 1) 研修中の宿泊費, 移動費 (空港送迎含む), 日当はロシア政府負担
  - 2) 研修実施地域までの渡航費用, ロシアビザ取得関連費用, 海外旅行保険料は参加者負担
- ※日本からの参加者が多い場合は, こちらが指定する旅行会社でビザ申請代行手続きを行っていただきます。

### 4. 参加資格

- 1) 日本国籍で日本企業または地方公共団体に勤務している者 (それ以外の方はご相談ください。)
- 2) 英語またはロシア語で研修が可能な者 (通訳を雇っての参加も可能。1 地域の研修に 10 名以上の日本人が集まる場合は日露通訳を配置する可能性あり。)
- 3) 日露経済交流に関心があり, 65 歳までの心身ともに健康な者
- 4) 過去に当訪口研修に参加していない者

### 5. 研修参加の流れ

オンライン登録, または申請書に記入し応募 (4 月以降) →ロシア側が参加者選考→参加決定→参加準備 (ロシア査証申請等)

### 6. 参加決定後の流れ

#### 研修前

- 1) 企業選択:  
「地域人材センター」が提示したリストに基づき参加者が選択, または, 希望する企業に参加者自身が個別視察のアポを取る。
- 2) 個別プログラムの確認:  
受け入れ団体が参加者と直接メール等で個別に連絡をとる。セミナーや円卓会議の関心があるテーマなどを調査。
- 3) 最終的な研修プログラムを作成 (研修開始の 1 週間前まで)

#### 研 修

- ・ 地方政府関係者や企業経営者等との面談の可能性あり
- ・ 意見交換のため地方政府の代表者との円卓会議を予定
- ・ 参加した地域の特徴を知るため, 歴史や文化施設や自然などを視察する文化行事あり
- ・ 外国人ビジネスマンの訪口研修広報のため, マスコミ関係者との面会の可能性あり

#### (1) プログラムについて (基本):

- a) 1 つの訪口研修の枠組みで, 1 地域または 2 地域を訪問
- b) 開始と修了セミナー
- c) 開催地域の政府代表者 (経済発展局, 産業・運輸・イノベーション局, 農業政策局) や商工会議所の代表者, 投資誘致担当, 大学の代表者, 様々な産業分野の代表者との面会。
- d) 情報交換: セミナー, トレーニング, 様々な産業分野の専門家と面会
- e) グループで企業訪問。グループ訪問は, グループ参加者の関心の高い分野を考慮し, その地域の優先分野の企業訪問
- f) 参加地域の政府関係者代表や, 経営者育成大統領プログラム修了生, 経営者, 企業, 商工会議所のパートナーと名刺交換会
- g) 個別視察プログラム (個別視察プログラムは, 申請書記載情報等に基づき作成する)
- h) 文化プログラム (市内視察等)
- i) 研修生自身が計画した個別視察のための自由時間。参加者が必要経費を自己負担する場合, 受け入れ団体は視察のための同行者や通訳の用意

(2) 研修に関わるサービスについて：

【言語】：ロシア語と英語，ロシア語または英語。（研修参加者がどちらの言語も話せない場合は，自己負担で通訳のサービスを受けることが可。日本人がグループ内に 10 名以上いる場合は日露通訳の配置も検討される）

【ホテル】：3 つ星以上の朝食付きシングルが無料で提供される

【日当】：15 ユーロを下回らない金額×参加日数分を初日に現金で一括支給。

【送迎】：マイクロバス等での送迎サービスあり（空港とホテルの往復，研修プログラム参加，企業視察，文化行事）

【期間】2 週間（1 週間の参加も可能）

(3) 研修中にセミナーが行われます。

セミナーの主なテーマは例えば下記の通り。なお，テーマは，研修プログラムに関連したものや，参加者の希望により決まる。

- ・「州のイノベーション投資の魅力」
- ・「イノベーション投資プロジェクトへの国家支援」
- ・「地域の経済活動の特性とその特色」
- ・「ロシアでビジネスを行う際の特徴」
- ・「ロシアでの中小企業ビジネスの経営及び支援」
- ・「合弁会社設立にかかる法的書類」
- ・「地域での投資プロジェクトの展望」
- ・「研修生の国と，地域の歴史及び近年の関係」
- ・「ロシアでの海外投資と課税」
- ・「どのように外国人ビジネスマンがビジネスを始めるか」
- ・「ロシア企業の会社文化の特徴」
- ・その他

## 7. 補足

- ・参加者が一定人数以上集まらない場合，研修の日程が変更になることがあります。また，研修が中止になることもあります。
- ・ご参加に至るまでの連邦人材センターとの連絡や調整など，各種フォローをモスクワ日本センター事業課が行います。

## 8. ご参考

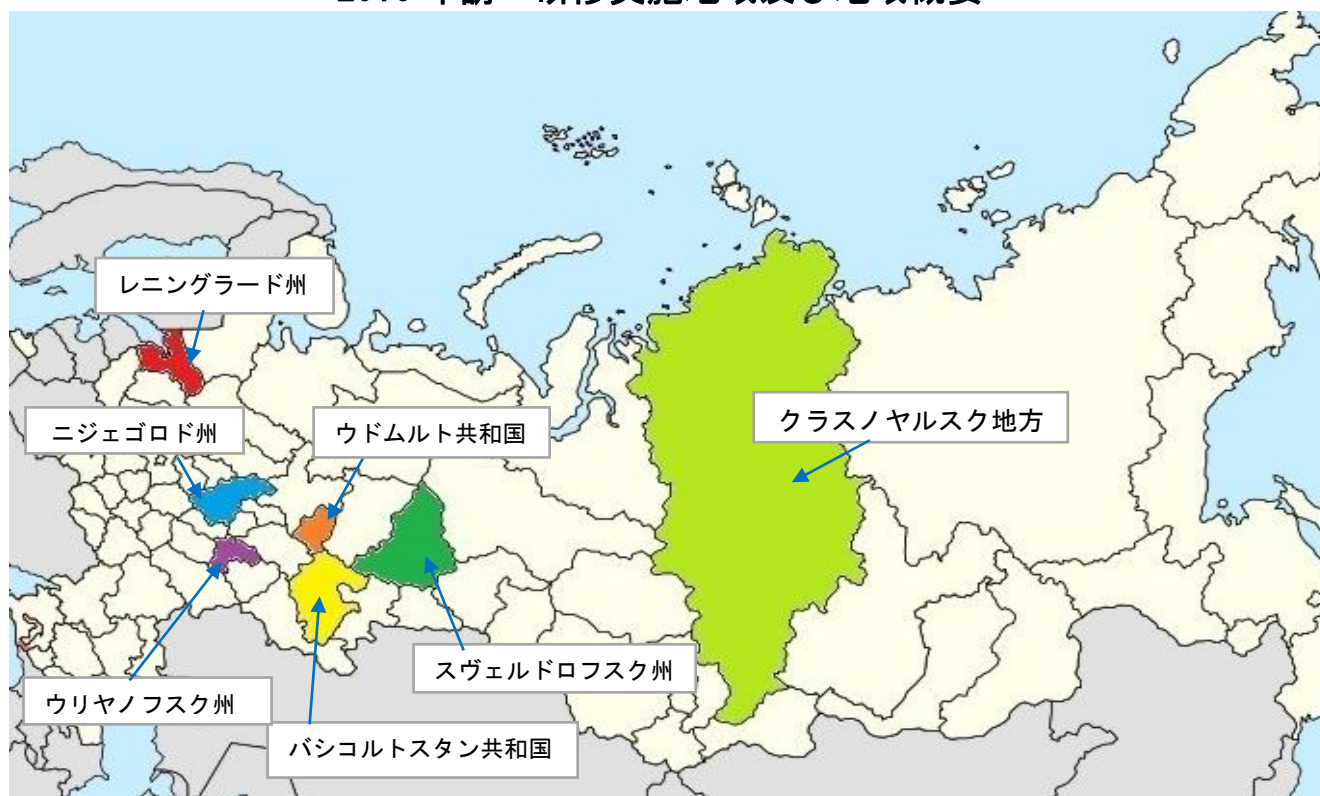
- 1) 2015 年沿海地方での訪口研修に参加した日本人参加者の記事です。  
<http://jp.rbth.com/business/2015/10/15/482939>
- 2) 日本からは 2011 年に初めて参加し，2015 年までに合計 48 名が 10 地域での訪口研修に参加しました。日本人研修参加者の参加人数等の内訳は以下の通りです。

年	参加人数	参加地域
2011	6 名	アストラハン州，アルタイ州
2012	7 名	クラスノダール地方，スタヴロポリ地方，レニングラード州，シベリア地方
2013	18 名	エカテリンブルグ，シベリア，サマーラ，中央連邦管区，アストラハン
2014	6 名	シベリア，レニングラード州
2015	11 名*	沿海地方（ウラジオストク）

\*11 名の参加者に加え，ウラジオストク日本センター所長が同行。

ご質問等ございましたらモスクワ日本センター事業課（info.mow@jc.org.ru）までご連絡ください。  
よろしくお祈いします

## 2016年訪口研修実施地域及び地域概要



自治体名	人口・面積	首都	人口	主要産業	地域内主要ロシア企業	進出日本企業
クラスノヤルスク地方	2,852 千人 2,366 千 k m <sup>2</sup>	クラスノヤルスク	1,052 千人	加工産業、資源採掘、非鉄金属、卸・小売業、運輸通信業、建設業	ノリリスク・ニッケル, VANKORNEFT, Polyus Gold, RUSAL クラスノヤルスクアルミ工場	スミテック (住友商事の建設機械販売会社)
スヴェルドロフスク州	4,321 千人 194 千 k m <sup>2</sup>	エカテリンブルグ	1,412 千人	鉄鋼業、自動車、金属・木材加工	ウラルマシュ, ニジニギル金属工場	住友電工 (Ural Wiring Systems) 三島光産
バシコルトスタン共和国	4,069 千人 142 千 k m <sup>2</sup>	ウファ	1,105 千人	石油精製、加工産業、化学工業、卸・小売業、運輸業、建設業	ANK バシネフ, サウダト石油化学コンビナート, ベラルツク冶金コンビナート	双日
ウドムルト共和国	1,517 千人 42.1 千 k m <sup>2</sup>	イジェフスク	637 千人	軍需産業、自動車産業	イジフト, イジマン	日産ルノー, 鬼怒川ゴム
ニジェゴロド州	3,282 千人 76.6 千 k m <sup>2</sup>	ニジニー・ノヴゴロド	1,264 千人	加工産業、自動車、石油精製、鉄鋼業、化学工業、	Lukoil系, Vyksa 冶金工場, GAZ	TRM, 大同メタル, 旭硝子, 矢崎総業, クラレ
ウリヤノフスク州	1,268 千人 37.2 千 k m <sup>2</sup>	ウリヤノフスク	617 千人	機械工業、自動車・航空産業、農業	UAZ, ウリヤノフスク機械工場, ウリヤノフスクエネロ	ブリチストン, 夕夕, 小糸製作所, 森精機, MC Logistics, いすゞ
レニングラード州	1,775 千人 83.9 千 k m <sup>2</sup>	(注)		機械製造、自動車産業、金属加工業、林業・製紙業、石油精製、建設業、商業、輸送業	キシシ石油精製社, フォード, キャピラー, 伊ヤ, ナア他	三井物産 (合弁鋼板工場), スミテック (住友商事の建設機械販売会社) 他

注：ロシア第2の都市サンクトペテルブルク市は、レニングラード州に含まれない。尚、レニングラード州の行政府は、サンクトペテルブルクにある。